



興渡名所畧會
三

1084
3



1084
3



世渡名所圖會卷之三

目錄

貧乏神	學者羅志井	叫谷	虛能川	努頂實
女房離別時	公捧	祭の太鼓	儘乃川	生藥師

世渡名所圖會卷之三

三

唐山の胡九詔こくくわうとて一男其家そのけをたてて漸ゆるしきふ
 田代たしろの者ものの世よにありて日ひ
 其の体ていであつて。毎ま日にち天てんを向むかひて。身みをあげし
 先天せんてんの道みちのちにありて。家いへ内うちは病やまままし
 者もの難がたなるまはらし。つとまららんがてあるは病やまをあか
 は合あひて。福ふくをあままし。ふかのかどやそとぞた九く詔わうが
 せらがらねははのてあらう。一い日にちたらば其の
 漸ゆるらうらうていくま日にちくはまらるが。それが
 づらは合のよにあらうてあるは。鳴な呼ことけとあるを

つとく 惟ただづらんがてあらう。夫その胡こ九く詔わう。そのた
 ららるにくまらうらうてあるは。先ま天てん下か
 たら平へいのせはははなよしならて。切き張ちやうの軍しらう。是
 ぞのの幸なり。おと又また是の食をはらひまはらはらします
 其の心こころ今いままでも。家いへ内うち養やしなふも知しるも。口くちぬ
 身みをあかし。親おや子こ兄あに弟いもうと一いっ人にんでは病やまいけります
 らの端はしにあらば。宰さ入いらば。はやかは合あひ
 乃すなはちは。そのあらうのようにあらう。そのあらうのようにあらう
 つとくは。唐たう山さんのまおよ目めをあらう。何なんとも賢けん人にん

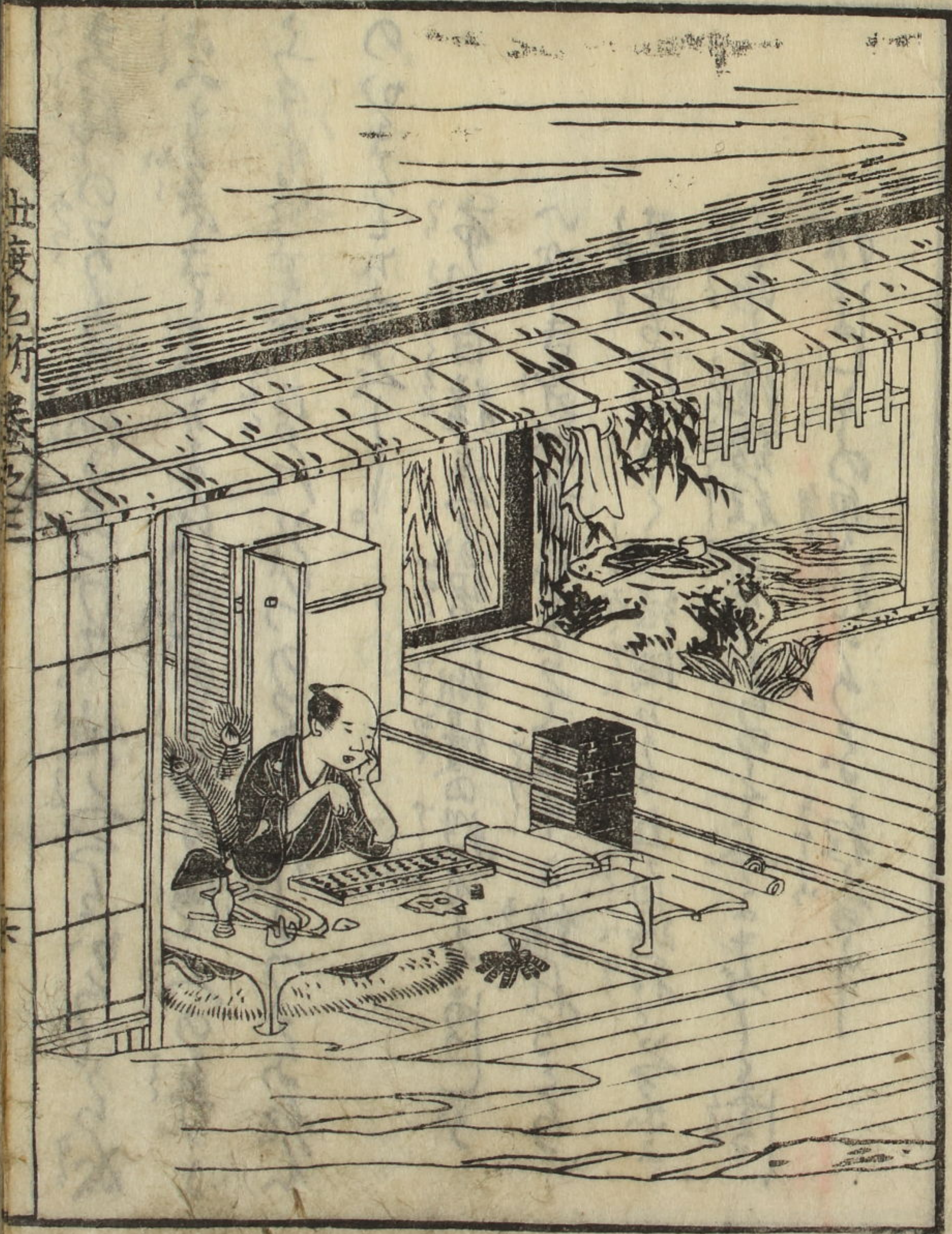


るに筒とてしるのり。別はものごとくさしめよ。
もやでこちかむ。

○女房離別峠

は峠に至りけり死を常く。常くは月の浪風あ
らねりしと。路をさし峠の名もよがらさう
美江のあまの士とありて。何き病あり
女。あまの女。きとととあつるあまの女。かか
さふし及ねど。是りあまのきとて。あるまのけり
う。互の孤伶を。まら美江のりんで。美江を

柳んぎりの鏝り。一言半分のあつるひも。
物形するあのだし止るさくして。隣を
渡さるらん。いもやううかきものぞう。まを
美江のあまの。美江のあまの。主親のぞ
くねそ。たひまな十分の。かたのとも。ささ
えりはき。きねの。何ならあまの。あ
きん。扱の。まの。きん。あまの。あ
後。春の。あまの。あまの。あまの。あ
まの。あまの。あまの。あまの。あまの。



士流名所

學都羅志井



士流名所

五

其の者らし井しよみ。今の世は中よあつてのうし。
是の世は學文をらのむ人ありて學若の

○學者羅志井
其の者らし井しよみ。今の世は中よあつてのうし。
是の世は學文をらのむ人ありて學若の

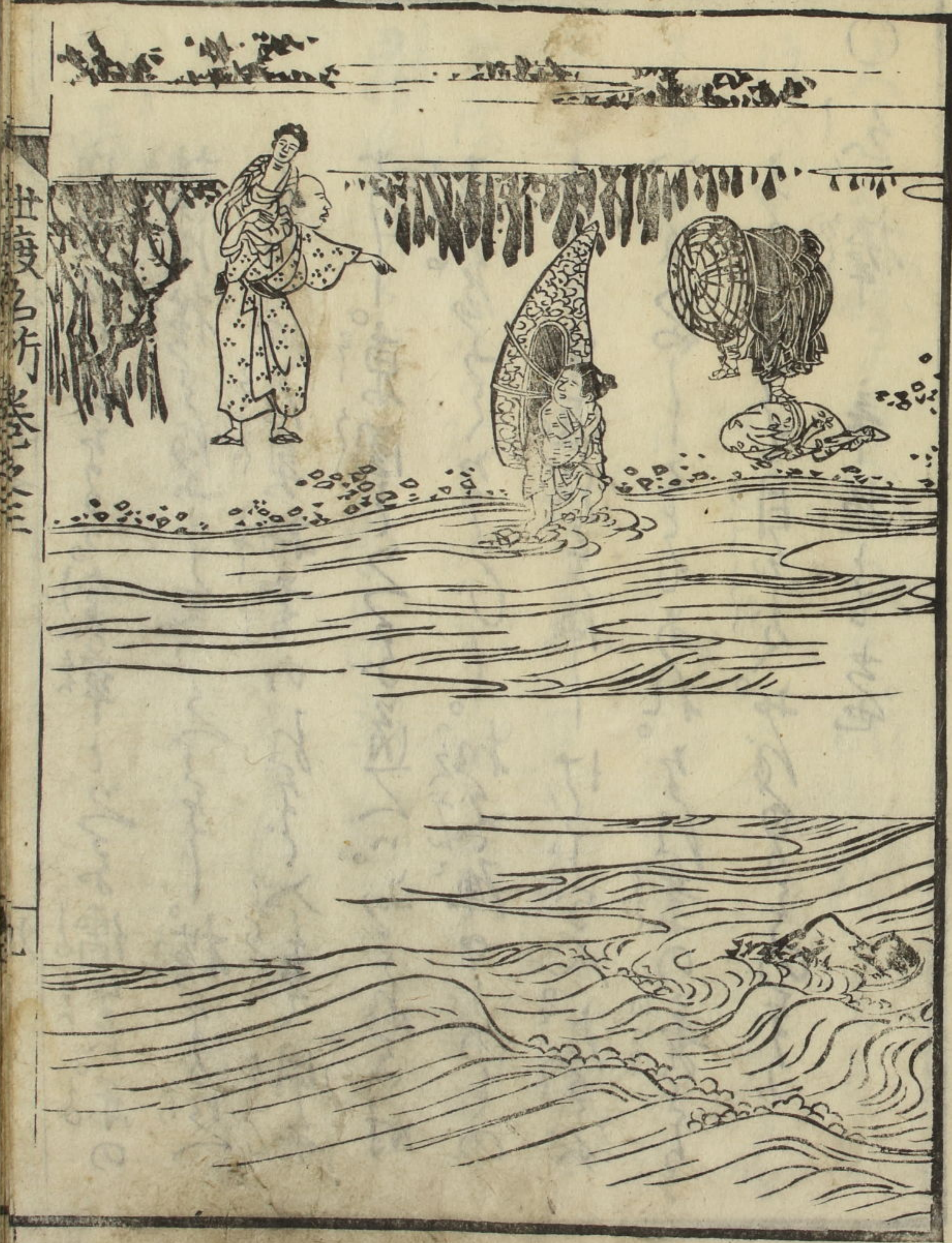
たれしとて考のさうよおの月
ま歸申うとらかりし殿
又一首

隅田川ありやちやよさるせしめ
とららと聞ぬとて嬉しよ
らほ白猿がかりと。丸屋を流るうやとせよ

○學者羅志井
其の者らし井しよみ。今の世は中よあつてのうし。
是の世は學文をらのむ人ありて學若の

孝悌忠信の道、身のあつても死んで又生るの
博物の学者となりて思ふもあはれ。只おぼえて
その遠く唐風よりして、お現をよめて、文房書案の
具をよむ。よろし漢産の古書に愛し、唐本おぼの
奇書、法帖、書画の品のあつて、家々の風流を
おぼへる人あり。それありあつたを、かぎりなく、斗の
りよて、まゝの用をさるるも、なく、茶人の茶器と
集めて、おれど、さるる、古おもひ、いかに物とさるる

たふちり。はくちり、あつた、おぼの、が、ち、書、の、く、
現、す、れ、人、と、さ、る、よ、ま、ま、の、あ、つ、た、成、程、の、金、銀、を
費す。あや、た、程、を、さ、る、く、買、う、え、秘、法、す、ら、ん。
か、は、ら、い、さ、く、お、ぼ、の、あ、つ、た、り。孫、お、の、代、と、さ、る、て。
ら、と、さ、る、な、ま、さ、バ、十、分、目、の、物、を、白、あ、ま、い、ま、
ま、ご、つ、か、り、ぐ、一、若、ま、さ、ん、と、さ、る、あ、つ、た、り、も、は、さ、ま、た、
ら、一、舟、人、の、ま、ね、と、さ、る、あ、つ、た、り、高、上、お、ぼ、の、の、お、
ご、一、づ、ね、が、一、業、お、さ、る、あ、つ、た、り、と、さ、る、あ、つ、た、り。
み、な、さ、る、あ、つ、た、り、と、さ、る、あ、つ、た、り。



世渡り舟



川の虚

世渡り舟



上野山行



實 頂 勢

上野山行

つうくはみながし。嗚るる。ちりー。ひびく
たも。虚ろふ。友ら。三人ある。一人の。か
き。二人。き。一人。乃。その。を。よ。ぬ。り。か
そ。で。ぬ。ま。ら。べ。別。の。り。て。其。人。を。斗
神。の。一。故。ん。瓜。み。さ。て。嗚。い。ま。は。し
り。あ。り。る。の。り。

○祭の太鼓

世後。あ。ま。り。利。口。す。げ。り。し。ち。り。し。う。べ。り
智。恵。へ。い。く。し。が。く。し。て。賢。く。祭。の。太。鼓。は

見。あ。る。一。ど。ん。く。か。ら。く。ど。ん。く。か。ら。く。
ど。ん。く。か。け。り。を。揚。げ。た。ぬ。り。の。り。

○虚能川

根。も。葉。も。な。し。偽。の。り。瓜。虚。乃。川。の。り。
嗚。る。た。る。虚。心。虚。あり。て。佛。の。り。人。瓜。好。い
傾。城。の。虚。を。人。瓜。ま。ら。ん。世。の。り。そ。の。あ。ま
ら。り。の。り。虚。心。の。り。瓜。の。り。虚。心。の。り
日。の。り。も。年。の。り。虚。を。や。め。日。の。り。あ
虚。く。ま。は。し。の。り。中。の。り。あ。り。て。あ。つ。た。り



生藥師



海の川とやい。ちり母も口はよもい。めじとを。
あり運とらぬ。たまに。や。ちり。ちり。ちり。ちり。
がけ。そ。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
け。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。

業揚庵

母の乳父のしり。ちり。ちり。ちり。ちり。
あ。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
世の中。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。

巴人亭

世ふちつ。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。

醉竹庵

○ 努頃實

ぬ。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
枝。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
に。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。

一筆教刻。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。

百。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
ぬ。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。
ぬ。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。ち。り。

きく。感い。一。生。を。や。う。の。前。
盗まね。その。公。を。
く。し。ん。と。し。ぶ。し。身。を。り。ぬ。金。を。り。ぬ。ま。り。
甘。ね。と。一。朝。の。ち。き。ぬ。勝。軍。を。り。
宗。後。と。り。法。原。の。追。刺。を。ま。り。
可。め。の。こ。い。

我。き。ぬ。ぬ。筆。斗。を。ゆ。せ。り。
し。ま。世。の。ち。き。ぬ。は。ま。り。ま。

○ 生 薬 師

録 日 每 朝 四 時 限

今。の。芝。の。中。に。あ。ま。り。れ。り。に。て。何。れ。や。
と。だ。利。を。の。ち。ま。り。し。り。ゆ。り。し。て。又。あ。ま。り。
お。し。他。の。ま。り。し。れ。病。の。あ。り。の。な。ん。ど。
醫。者。あ。り。し。て。謝。れ。ら。し。と。あ。る。業。を。て。
ぬ。く。業。の。友。の。医。あ。り。あ。ま。り。あ。る。ま。り。の。業。
家。の。ま。り。あ。り。し。る。中。に。買。う。業。を。令。成。
す。り。の。ま。り。し。る。業。を。令。成。し。る。何。れ。の。
ま。り。し。る。ま。り。し。る。業。を。令。成。し。る。何。れ。の。
ま。り。し。る。ま。り。し。る。業。を。令。成。し。る。何。れ。の。

醫師いしやをもくめで。療治りょうぢなるくづく。
 白しろくくのくまりいい
 白しろくくのくまりいい
 白しろくくのくまりいい



世渡名所圖會卷之三 終

